



聖康会だより

発行人
 社会福祉法人 聖康会
 理事長 外崎 淑民
 〒036-8381
 青森県弘前市大字独狐字山辺183
 電話(0172)95-3434(代表)
 FAX(0172)95-3477

地域との共生を図り、優しさと思いやりに溢れた
 最大限の支援を目指して50年



開設(昭和49年5月1日)
 当時のさくら園



グループホーム
 さくら草
 (共同生活援助)



サポートセンター
 さくら
 (就労継続支援B型)



現在(新園舎)の写真
 障害者支援施設
 さくら園
 (生活介護・施設入所・短期入所)

グループホーム
 さくら寮
 (共同生活援助)



社会福祉法人 聖康会
 本部

弘前市大字独狐字山辺183
 電話:0172-95-3434(代)理事長 外崎 淑民

障害者支援施設さくら園
 (生活介護・施設入所・短期入所)

弘前市大字独狐字山辺183
 電話:0172-95-3434(代)
 施設長 新谷 徹/課長 佐藤 信広

サポートセンターさくら
 (就労継続支援B型)

弘前市大字独狐字山辺183
 電話:0172-95-2370
 管理者・課長 岩淵 泉樹

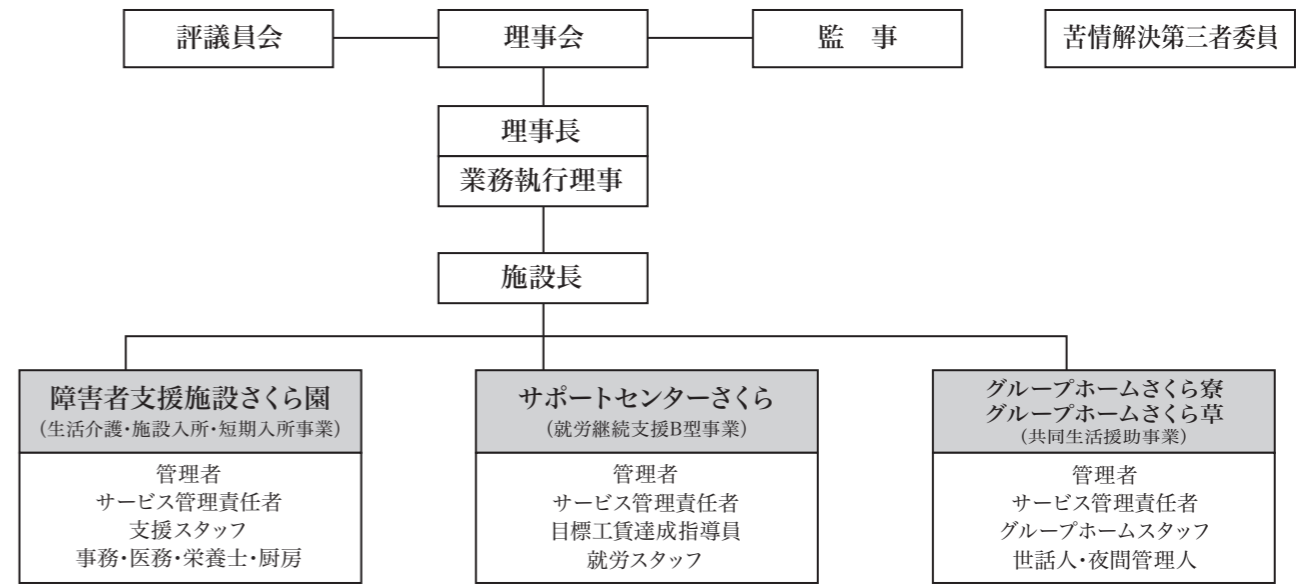
グループホームさくら寮
 (共同生活援助)

弘前市大字独狐字山辺197-1
 電話:0172-95-3434
 管理者 多賀谷 和輝

グループホームさくら草
 (共同生活援助)

弘前市大字独狐字松ヶ沢20-5
 電話:0172-88-6550
 管理者 多賀谷 和輝

社会福祉法人 聖康会 組織図



理事

理事長 外崎 淑民
 業務執行理事 新谷 徹
 理事 小田桐 匡希
 理事 工藤 敏夫
 理事 島 浩之彦
 理事 諏訪 輝彦

監事

監事 石山 恭兵
 監事 小中 剛

評議員選任・解任委員

委員 角田 光義
 委員 平川 大輔
 委員 福士 康太
 委員 石山 恭兵
 委員 小中 剛

評議員

評議員 猪股 豊
 評議員 神 昭男
 評議員 高橋 文雄
 評議員 鳴海 重喜
 評議員 本間 昭夫
 評議員 森山 忠雄
 評議員 安田 昭弘

苦情解決第三者委員

監事 神 昭男
 監事 鳴海 重喜



歴代理事長

初代 桜田 怜 (昭和48年11月就任)「創設」
 二代 岩谷 啓之介 (昭和57年5月就任)
 三代 工藤 広美 (昭和60年6月就任)
 四代 斎藤 章 (昭和60年12月就任)
 五代 蒔苗 一雄 (昭和61年5月就任)
 六代 蒔苗 幸男 (昭和61年11月就任)
 七代 毛内 由和 (平成13年8月就任)
 八代 高橋 正安 (平成30年1月就任)
 九代 小田桐 匡希 (令和3年6月就任)
 十代 外崎 淑民 (令和5年6月就任)

歴代施設長

初代 寺口 石次郎 (昭和49年5月就任)「開設」
 二代 佐藤 寿 (昭和52年5月就任)
 三代 浅利 与一 (昭和55年11月就任)
 四代 仲原 利夫 (昭和58年2月就任)
 五代 秋元 耕一郎 (昭和58年8月就任)
 六代 斎藤 章 (昭和59年4月就任)
 七代 対馬 亨 (昭和60年7月就任)
 八代 高橋 進 (昭和61年6月就任)
 九代 川村 利典 (平成4年4月就任)
 十代 成田 正義 (平成13年11月就任)
 十一代 成田 守男 (平成24年4月就任)
 十二代 亀田 敏明 (平成28年11月就任)
 十三代 新谷 徹 (平成31年4月就任)

さくら園
 ホームページ



新たな歩みに向かって



理事長 外崎 淑民
一人ひとりの豊かな人生を願って

聖康会が五十周年を迎え、地域の皆様、関係機関、利用されるご家族の皆様からのご支援とご理解に深く感謝申し上げます。又、様々な困難の中で根気強く福祉事業に取り組んで来られた諸先輩の皆様をこの機会にも大切に継続して行くことを誓います。我が国が日常生活に困難を抱える人々と支え合える社会を目指して社会福祉事業法が昭和二十六年三月に作られてから七十二年、この年、この月に偶然私は生まれ、日本の社会福祉と共に歩ませて頂いている幸いを思います。そして、今日までの四十六年間を社会福祉施設で働かせて頂いております。聖康会の新たな一歩を進むこの時に私も共に参加させて頂く光栄に心からの感謝と私の経験が少しでも役に立てたらと願って止みません。これからも聖康会の取り組み福祉事業が、利用される一人ひとりの人生が大切にされ、心豊かな日々となりま



業務執行理事・施設長 新谷 徹
居心地のいい生活が続きますように

平成二年にこの新境地へと移ってから三十三年が経過し、そして今五十周年を迎えるということに感動し、いろいろな道のりを踏みしめてきたことに深い感慨を覚えます。平坦な道ばかりではなかったからこそ、今があるのだらうと感じているところです。私はまだ、その中の極一部の時間を過ごしたただけであり、諸先輩の皆様が築き上げてきたものをただ単に踏襲しただけに過ぎませんが、聖康会としてさくら園が半世紀を迎えることに歴史を感じると共に、また改めて新たな歴史を築いていけることが出来るよう、この思いを継続して行かなければならないという決心を胸に、今後も利用者の皆さんの幸せと生きがい作りの手助けをしていければと思っております。



さくら園 手をつなぐ親の会 会長
今 春雄

さくら園、開園五〇周年おめでとうございます。この五〇年間いろいろな事があったと思いますが、理事、指導員、他皆さんの努力により今回を迎えることができ大変うれしく思います。私はさくら園が弘前市境関にあったころより姉がお世話になっており、よく母と来ていました。弘前市独狐に来てからも三十二年にもなると早い気もします。手をつなぐ親の会としてもコロナ前は施設見学、情報交換も年に一度程度行っていました。コロナ禍でいろいろコロナの影響でできませんでしたが、コロナ禍では利用者、職員も行動制限もあって大変だったと思います。今後は利用者さんも高齢化してきていますので、それぞれの利用者さんに合ったサービスを続けてもらいたい次の時代へつなげてほしいと思います。



生活支援員 木村 哲子
勤務四十五年の思い出

二十歳で入社し早いもので四十五年、あつという間に過ぎました。入社した時は境関に施設があり、周りには田んぼ、団地があり静かな所でした。近くには弘南整備前バス停があり、バスに乗りイトーヨーカドーへ買物に行くのが皆さんの楽しみでした。利用者さんは五十名、社会勉強の為にバスに乗る指導を行っていた頃を懐かしく思います。半世紀近くさくら園の利用者さんと共に生活してきた事になりますのでいろいろな思い出があります。特に記憶に残っているのが、利用者同士の結婚です。悲しい事に亡くなった方、親元に帰った方、施設替えをされた方もいます。四十五年の中にいろいろな人の流れがありました。職場の中でも色々ありましたが、利用者さんとの生活では居心地が良く四十五年も一緒に生活出来たと思います。いつも思う事は、私が指導してきたのではなく、私が利用者さんに教えられた四十五年でした。利用者さんに感謝です。



理事 工藤 敏夫

社会福祉法人聖康会創立五〇周年に於て当法人創立五〇周年、誠にありがとうございます。半世紀という長きにわたり、施設を利用されている方々とそのご家族を支え続け、地域福祉向上のため尽力されてきた職員及び関係の皆様のご努力に対し、心より敬意を表させていただきます。一口に五〇周年と口で言うのは簡単ですが、多くの困難と紆余曲折がありながらも、着実に事業を継続してきた当法人の力には、揺るぎないものがあると確信しています。五〇周年という節目を迎えたことを機に、また新たなスタートを切るという意気込みを持って、今後も力強く歩みを進めていただくことを期待しています。そして社会福祉法人聖康会が、利用されているご本人とご家族、地域の皆様から、これまで以上に頼りとされる存在であり続けるために、当法人の役員として、微力ではありますが、皆さまと共に歩んで行きたいと思っております。『新たな一歩を共に踏みだそう』



理事 島 浩之
社会福祉法人聖康会の創立50周年に寄せて

社会福祉法人聖康会の創立五〇周年、誠にありがとうございます。創立以来、関係者の皆さま方や職員の皆さま方のご献身なるご努力により、半世紀の五〇年を迎えられました。心から皆さま方には、御礼を申し上げます。今後は、次の五〇年に向かって、利用者の方々のためにこれまで同様、熱意ある法人運営・施設経営をしていただきますよう、お願い申し上げます。私も、微力中ではありますが、お手伝いをさせていただきますと思っております。とりあえず、五〇年間、お疲れさまでした。



監事 石山 恭兵

聖康会創立五〇周年おめでとうございます。私は税理士の石山恭兵と申します。五〇周年という節目の年に、監事に就任させていただきました。私の事務所は、「関与先企業の黒字化」を目標に、月次巡回監査を業務の柱にしています。月次巡回監査では、毎月関与先に訪問し、会計データのチェック及び業績報告を行います。経営者の方が、会社の業績をリアルタイムに把握できるように努めています。開業して三年を経過しましたが、聖康会様の歴史と比べるとまだまだです。それでも、精一杯監事の仕事を務めて参りますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



監事 小中 剛

このたび、社会福祉法人聖康会の監事を拝命することになりました。小中剛と申します。青森県庁を退職し八年になり人生を謳歌してはいたつもりが、なぜか、虚無感を抱くようになり。残り少ない人生でこのような体たらくではと。そんな所、親友の計らいで当法人の監事就任依頼があり、少しでも社会貢献できる仕事が今の自分には必要と思いき快諾しました。福祉業務は以前から興味があつて、当法人運営に微力ながら協力する覚悟であります。私の生まれた故郷は当施設から北に八キロに在る小友村です。当施設のある独狐村は高校時代の通学路であり、なつかしく思い出されます。これも何かのご縁でしょうか。どうか、歳を食つても新人です。みなさんの御指導方よろしくお願ひします。



社会福祉法人聖康会50周年の歩み

- | | |
|--------------------|--|
| 1973年(昭和48年)11月16日 | 法人認可 |
| 1974年(昭和49年)5月1日 | さくら園開設(定員50名) |
| 1990年(平成2年)12月12日 | さくら園移転改築(和泉から独狐へ) |
| 2005年(平成17年)7月1日 | グループホームこぼし、デイサービスこぼし事業開始(高齢者福祉・青森市) |
| 2007年(平成19年)9月1日 | グループホームさくら丸事業開始(障害福祉・鱒ヶ沢町) |
| 2011年(平成23年)9月1日 | さくら園作業棟完成 |
| 2012年(平成24年)2月1日 | さくら園:精神薄弱者更生施設から障害者支援施設に名称変更(定員50名から40名) |
| | 就労支援B型事業・サポートセンターさくら(定員20名)事業開始 |
| | 現グループホームさくら寮(定員14名)事業開始 |
| 2012年(平成24年)8月10日 | 海の見える街こぼし開設(青森市・サ高住・収益事業) |
| 2016年(平成28年)3月31日 | グループホームさくら丸閉鎖 |
| 2016年(平成28年)4月1日 | グループホームさくら草開設(定員12名) |
| 2021年(令和3年)3月31日 | 海の見える街こぼしを慈恵会へ譲渡 |